

# 令和7年度第2回北薩地区小・中・義務教育学校教頭研修会

## 令和7年10月17日(金)

<b>1 目的</b>	県及び地区教育行政の重点施策並びに共通実践事項等について理解を深めるとともに、教頭という立場から、責任を果たす学校づくりにおける課題と解決策を確認し、学校教育の充実に資する。		
<b>2 会場</b>	薩摩川内市国際交流センター		
<b>3 出席者</b>	管内各小・中・義務教育学校教頭 各市町教育委員会教育長、学校教育課長、指導主事 等		
<b>4 内容</b>	(1) 開会の挨拶及び所長講話 所長 (2) 教育事務所の重点施策等説明 ア 総務課 総務課長 イ 管理課 管理課長 ウ 指導課Ⅰ 各指導主事 <昼食・休憩> エ 指導課Ⅱ 危機対応演習:「生徒指導事案発生時における初期対応」	(3) 研究協議 「授業改善に向けた校内研修の活性化」 (4) まとめと指導 指導課長 (5) 講演 講師:瀬戸口 信一 生徒指導監 演題:「生徒指導上の諸課題への対応の在り方を考える —チーム学校が支える課題解決のための連携と実践—」 (6) 閉会の挨拶 さつま町教育委員会教育長	

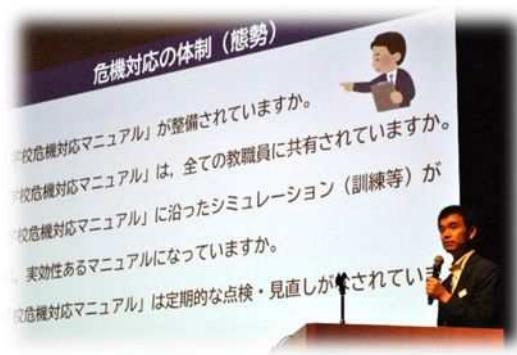
### 5 様子



所長講話



研究協議:  
「授業改善に向けた校内研修の活性化」



講演:瀬戸口 信一 生徒指導監



閉会の挨拶:さつま町教育委員会教育長

### 6 感想・意見

生徒指導上の諸課題を解決する上で、職場の雰囲気がとても大切であることを確認しました。子供たちのウェルビーイングと同じくらい、職員のウェルビーイングを大事にしていきます。

自殺やいじめの重大な事態は、どの学校でも起こりうることと認識した上で、その対応はもちろん、未然防止をしっかりと進めいく必要性を再認識しました。

研修者が主体的に受講できるような手立ての工夫がありがたかったです。我々が受け身では子供たちに主体的な学び方を身に付けさせるのは難しいと思いました。意識を高くもち、教頭としての職務を果たすよう努めたいと思います。